

ニッペ 水性シミ止めシーラーII

- 系 統：カチオン形エマルジョンを主体とした内部用の下塗り塗料。
- 主な用途：内部壁面および天井面の塗り替え、塩化ビニールクロス面塗装時の下塗り塗料。
- 特 長：1.内部塗り替えに使用する低VOC形水系のホワイトシーラーです。(VOC 0.8%)
2.塩化ビニールクロスへの付着性が良好です。①
3.タバコのヤニなどを止めます。
4.水系で取り扱いやすく安全です。
5.JIS K5663 合成樹脂エマルジョンシーラー 合格

■性 能

試験項目	規 格	性 能
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。	合 格
塗 装 作 業 性	はけ塗りに支障があってはならない。	合 格
塗 膜 の 外 観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合 格
乾燥時間(表面乾燥)	2時間以内	40分
低 温 安 定 性	-5℃に冷やしたとき変質してはならない。	合 格
低 温 造 膜 性	5℃で塗膜形成に異常があってはならない。	合 格
上 塗 り 適 合 性	上塗りに支障があってはならない。	合 格
耐 水 性	水に96時間浸したとき異常があってはならない。	合 格
耐 アルカリ性	水酸化カルシウム飽和溶液に48時間浸したとき異常があってはならない。	合 格
タバコのヤニ止め効果	ヤニ止め効果が認められること(社内規格)	合 格
塩化ビニールクロス付着性	テープはく離テストで付着していること(社内規格)	合 格

■適用旧塗膜：

合成樹脂エマルジョン塗料 (EP)、水性つや有り塗料 (GP)、塩化ビニル樹脂塗料 (VP)
合成樹脂調合ペイント (SOP)、非水分散型アクリル樹脂塗料 (NAD) など

■適用上塗り：

合成樹脂エマルジョン塗料 (EP) ②
(エコフラットシリーズ、Hiビニレックスシリーズ、オーデファインアクトなど)

① 塩化ビニールクロスの仕上げ塗料に、つや有り塗料のご使用は避けてください。
(可塑剤のブリードにより、粘着の出る可能性があります)

塩化ビニールクロスの仕上げ塗料としては、EPなどつや消し塗料をご使用ください。

② 上塗りに溶剤系塗料のご使用は避けてください。

■使用方法：

混 合：使用前に十分かくはんしてください。

希 釈 剤：水道水

塗 装 方 法	はけ塗り	ウールローラー塗り
希 釈 率	0~5%	0~5%
使 用 量	0.11~0.13kg/m ² /回	0.11~0.13kg/m ² /回

※上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

■容量と色相：

容量：15kg

色相：ホワイト

標準塗り替え塗装仕様

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥 時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	適用旧塗膜の場合	活膜は残すが劣化塗膜は入念に除去する。ほこり、よごれを除去し清掃する。					
	塩化ビニールクロスの場合	塩化ビニールクロスのめくれ、浮き、破れなどは十分に補修し、油よごれ、水溶性の汚染物など中性洗剤で拭き取り、ウエスで水がきして乾燥した面にする。					
下塗り	ニッペ水性シミ止めシーラーII	1	0.11~0.13	4時間以上	水道水	0~5	はけ ウールローラー
上塗り各種	Hiビニレックス60・70	2	0.12~0.14	2時間以上	水道水	5~15	はけ ウールローラー
	エコフラット60・70・100	2	0.12~0.14	2時間以上	水道水	5~10	はけ ウールローラー
	オーデファインアクト	2	0.12~0.14	2時間以上	水道水	5~10	はけ ウールローラー

※ 上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)。

※ 旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。

※ 防かび機能を必要とする場合は、「Hiビニレックス70強力防かび形」「エコフラット100」または「オーデファインアクト強力防かび形」をご使用ください。

※ 試し塗りでニッペ水性シミ止めシーラーII塗装後、タバコのやになどにより変色が著しい場合は、上塗りとの塗装間隔を1日以上取ってください。

※ カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いいたします。

ニッペ水性シミ止めシーラーII 施工上の注意事項 (詳細な内容については、製品使用説明書などにご確認ください。)

- ・ JIS A6021の下塗りとしての適性はありません。
- ・ 塩化ビニールクロスの仕上げ塗料に、つや有り塗料のご使用は避けてください(可塑剤のブリードにより、粘着の出る可能性があります)。塩化ビニールクロスの仕上げ塗料としては、EPなどつや消し塗料をご使用ください。
- ・ 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶性成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- ・ 塗装後24時間以内など乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生する恐れがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- ・ 動物はけは、はけが固まったりタマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- ・ 低VOCのため、氷点下で貯蔵すると凍りますが、そのまま室温にもとせば一部ニス浮きなどが発生しますが、使用可能になります。
- ・ 低VOCのため、氷点下で貯蔵すると凍ります。凍らないように5℃以上で貯蔵、保管をしてください。
- ・ 他の水性塗料と混合するとゲル化することがありますので、混合したり、はけ、ローラー、エアレス装置などの共用は避けてください。
- ・ 容器に小分けする場合はポリ容器をお使いください。(鉄製、プリキ製は腐食します)
- ・ 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなうおそれがあります。
風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ファイン浸透シーラーをご使用ください。
- ・ 塩化ビニールクロスのめくれ、浮きなどは接着剤で貼り付け、ローラーで圧着したり、類似クロスで面合わせをするなどあらかじめ補修してください。またクロスの接着力が低下している場合、塗装することでクロスが浮き上がってくる場合がありますので、クロスの合わせ部などはあらかじめ接着剤などで抑えておくことが安心です。
- ・ 素地は含水率10%以下、pH9以下となるように調整してください。

- ・ 表面のこみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目遣い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ・ 素材にセメント成分などが使われている場合は、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
- ・ 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- ・ 塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ・ 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- ・ 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- ・ 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行ない、火気厳禁にしてください。
- ・ 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- ・ シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りすることで、汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- ・ 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄めすぎは隠れ力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- ・ 汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の塗装条件を同一にしてください。
- ・ ブロック、紙クロスや汚染防止のクロス(シリコン加工され水をかけると著しくはくクロス)には塗装できません。
- ・ ローラー、ハケなどは、他の塗料での塗装に使用するとハジキなどが発生する恐れがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- ・ 上塗りに溶剤系塗料のご使用は避けてください。
使用前に内容物が均等になるようによくはんし、開封後は一度に使い切ってください。
やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。

安全衛生上の注意事項 ニッペ水性シミ止めシーラーII

- ・ 本来の用途以外に使用しないでください。
- ・ 使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
- ・ 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- ・ 適切な保護手袋/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用してください。
- ・ 必要に応じて個人用保護具を使用してください。
- ・ 飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。
- ・ 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用している場合、外して洗ってください。その後、洗浄を続けてください。
- ・ 目の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
- ・ 取扱い後は、手を洗ってください。
- ・ 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
- ・ 暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
- ・ 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。

- ・ 施設にて子供の手の届かないところに保管してください。
- ・ 直射日光や水濡れは厳禁です。
- ・ 積み重ねは3段までとしてください。
- ・ 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。
- ・ 内容物/容器を廃棄する時には、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- ・ 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。
- ・ 容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流す環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

※ 上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
 詳細な内容、表示例以外の商品については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。
 本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

警告



危険有害性情報

強い眼刺激/発がんのおそれの疑い

日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎03-3740-1120

☎06-6455-9113

<http://www.nipponpaint.co.jp/>

- ISO14001を全事業所で認証取得
- このカタログは、再生紙を使用しています。

- 本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 「本カタログ中の商品名・会社名は、日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。」
- ©Copyright 2008 NIPPON PAINT Co.,LTD All right reserved.

■ 詳しい情報はホームページで

日本ペイント 建物 検索

<http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html>



地球と共なる
ECO Action 21

カタログNo.

NP-M149

NB081003T

2008年10月現在